

平成13年5

商工わがのと

平成13年5月1日発行 第463号
(毎月1日発行 定価1部40円)

発行人 石川県商工会連合会
発行所 石川県金沢市戸水町イ65番地
〒920-0223 TEL (076)268-7300

石川県商工会連合会会報

<http://www.ishikawashokokai.or.jp/>



とじ込んで保存しましょう

農村文化伝承館(鳥越村)

主な内容

- 県連合会平成13年度主要事業.....(2)
- 平成13年度石川県予算.....(3)
- 能登空港の開港に向けて.....(4)(5)
- 平成12年度
いしかわ商工会ベスト店賞...(6)(7)
- 探訪「チャレンジ企業」
(有)こすもす：内灘町.....(8)

去る四月十四日にオープンした「鳥越村農村文化伝承館」は、昭和初期を中心とした鳥越村の人々の暮らしを当時の居間や農具等の展示を通して理解し、その遺産を後世に伝える事を大きな展示テーマとしています。館内には「そば打ち」や「紙漉」の体験コーナーや農作物の販売等「見て、触れて、体験できる」施設として、また失われゆく農村文化を次代に継承する架け橋として過日の文化を訪ねます。

また敷地内には「一向一揆歴史館」も併設されており、加賀の一向衆徒により自治が行われたその本質を見つげ出す展示内容もお楽しみいただけます。

IT（情報技術）を活用した

県連合会平成十三年度主要事業

支援事業を実施

県連合会臨時総会は去る三月二十七日に開催され、十三年度事業計画・収支予算（案）などについて審議し、依然として先行きが不透明で、景気回復の実感が掴めない厳しい状況が続いている中、地域経済発展のため、経営革新等の意欲のある中小企業等への支援を積極的に行うとともに、中小企業の経営安定維持の支援などを重点とする諸般の事業実施を決めた。

主な事業概要は次のとおり。

IT（情報技術）活用促進支援事業の推進

- ・ 小規模企業のIT活用を促進するためのサポート体制等確立ニーズ調査及び活用推進のための研修会の開催
- ・ 中小企業のIT活用を促進するため情報通信技術活用促進事業（ブロックエープラザ）の推進支援
- ・ 会員事業所にパソコン（インターネット）環境をセツト）設置を促進し、全国連が推進する「商工会ネットワーク取引所」による会員間取引の参加推進
- ・ 商工会長を対象にした「ITビジネス国際調査事業」の実施
- ・ インターネット等を活用した新しい仕入・販売システム（調査対象モデル バリアフリー商品・五感不満足

解決商品）を構築する調査事業の実施

- ・ 経営安定・経営基盤強化対策支援事業の推進
- ・ 経営支援特別相談事業の継続実施（ブロックとの連携事業）
- ・ 経営技術強化支援事業（エキスパートの派遣）による経営・技術改善の支援推進（県経営支援センターとの連携）

創業・経営革新支援の推進

- ・ 創業予定者等を対象にした新規創業支援セミナー・個別相談会の開催及び更に創業に意欲的なものを対象にした創業塾（短期集中セミナー）の開催

- ・ 県連合会への人事権の一元化及び人事評価システムの見直し導入の検討推進
- ・ 青年部・女性部育成強化事業の推進
- ・ 青年部・女性部連合会の育成強化の推進
- ・ 青年部・女性部員の資質向上等を図るため、ブロック別に連携した若手後継者等育成事業の実施

地域産業振興対策の推進

- ・ 大店立地法に係る大型店の適正立地、市町村の計画的まちづくりを推進するため、商工会に「まちづくり委員会」の設置促進
- ・ 企業の経営基盤強化を支援するため、業種別（流通・繊維・機械加工・建設等）、問題別研修会の開催（再掲）
- ・ 容器包装リサイクルの推進、産業廃棄物の処分、再利用、減量化等地域産業を取り巻く環境問題への対応と施策普及の推進
- ・ 中小企業の国際化の推進
- ・ 商工会地域の特産品等を展示・販売する全国連設置の「むらからまちから館」の活用推進

各種共済制度の推進

- ・ 商工貯蓄共済制度の制度内容の検討及び加入促進の推進
- ・ 特定退職金制度及び経営者年金制度の制度内容の改善等の推進
- ・ 県中小企業共済協同組合が

実施する傷害共済制度の普及推進の支援
・ 商工会等共済制度のリスク管理の推進

人事異動

- 「商工会等職員」の採用・退職」
- 退職二月
県連合会 森杉清美（補助員）
- 退職三月 採用四月
山中町 採用 三味美帆子（記帳指導職員） 退職 駒沢洋子（補助員） 尾口村 退職 中内幹雄（経営指導員）
- 高松町 採用 森 信義（事務局長） 退職 多々見啓久（事務局長） 七塚町 退職 指本勝幸（事務局長）
- 内灘町 採用 茶谷孝吉（事務局長） 退職 高桑久雄（事務局長） 志賀町 採用 中浦智美（一般職員） 鹿島町 採用 合田保徳（事務局長） 退職 廣田隆弘（事務局長） 寺本辰紀（経営指導員） 鹿西町 採用 宮崎久仁雄（事務局長） 退職 高崎孝治郎（事務局長）
- 退職四月
七塚町 黒田弘美（記帳専任職員）
採用五月
尾口村 川元 浩（経営指導員）

商工会組織強化の推進

- ・ 第四十一回商工会大会の開催
- ・ 新委員会を中心にした委員会活動の推進

商工会組織活性化の推進

- ・ 広域連携等基本方針に基づく「広域連携組織（指導）体制」を推進するため、ブロック別の役員等を対象とした懇談会等の開催及び指導体制整備の推進
- ・ 広域連携物産展（九月十二日～十七日の六日間、岐阜県「高島屋岐阜店」）への参加及び全国物産展（十一月二十三日～二十五日の三日間、東京都「池袋サンシヤインシティ」）の参加協力

財政健全化 景気対策 新世紀の基盤作り 平成三十三年度石川県予算

石川県が発表した予算案では、新県庁建設や能登空港整備など大型事業の工事を本格化する一方、ベンチャー支援など新産業創出や観光振興、県内市町村合併の推進など、新世紀の新たな社会基盤づくりや地域振興につながる事業にも予算を配分した。

新事業育成では、県内ベンチャー企業への投資・育成を

行う投資事業有限責任組合の設立を支援。都心部の空きビルなどを活用したネットベンチャーやSOSH O(スモールオフィス・ホームオフィス)への支援策も盛り込んだ。

一方、市町村合併推進に向け「市町村合併特例交付金制度」を創立。合併に向け法定合併協議会を設置した市町村を対象に、各種施設整備、地

方債の償還など行政サービス格差の調整資金として、自治体あたり二億五千万円を交付する。

組織改正で総務部地方課内に専門部署の広域行政推進室を新設するなど県内の市町村合併推進に向けた町内の体制整備も進める。

視点

市町村合併が全国的な気運に なってきた。昭和の大合併といわれた昭和二十八年の町村合併促進法施行以来の大きかりなものであり、

客観的な市町村相互の結びつきがあるものとする。少なくとも人口一万人〜二万人程度の規模を必要とする。分市、分町を伴うもの及び県外の市町村との合併については考慮しない

また、合併パターンとして、Aパターン(概ね人口一万人未満の市町村の解消)、Bパターン(概ね人口二万人未満の市町村の解消)、Cパターン(概ね人口五万人以上を目指す)の三つを提案し、それぞれに市町村の組み合わせも行って

その法的裏づけは平成七年の市町村の合併特例法(平成十七年三月三十一日までの時限立法)である。

これを受けて、各県でもそれぞれ合併パターンを発表しているが、本県においても石川県広域行政検討委員会の提言を受けて十二年度末に広域行政検討要綱が発表された。

それによると合併パターンの基準として、

県民に馴染みの深い郡や広域市町村圏の地域のつながりを重視する

感情的な問題の解消なども求め

それがあがられている。Aパターン(概ね人口一万人未満の市町村の解消)、Bパターン(概ね人口二万人未満の市町村の解消)、Cパターン(概ね人口五万人以上を目指す)の三つを提案し、それぞれに市町村の組み合わせも行って

市町村も商工会も時代の流れの変革期にある。

県庁所管部の組織改正についてのお知らせ

地場産業の活性化など既存産業の振興とともに、産業のソフト化・サービス化の進展への取り組みや情報関連産業、サービス産業の振興施策を推

進するため、本年四月一日より県の組織が改組されました。これに伴い、具体的には、商工労働部内体制は左表のとおりとなります。

現 行		改 正 後	
部	課	部	課
商 工 労 働 部	商 工 政 策 課	商	・管理係
			・企画情報係
	地 域 産 業 振 興 課	工	・産業創出係
			・技術振興係
経 営 金 融 課	働	・企画管理係	
		・地場産業係	
		・経営支援係	
労 働 企 画 課	部	・金融係	
		・金融係	
		・金融係	
労 働 企 画 課	部	・企画管理係	
		・労働福祉係	
		・労働福祉係	
労 働 企 画 課	部	・雇用推進係	
		・雇用推進係	
		・雇用推進係	

県下商工会地域における平成十三年一月から三月期の景況調査がまとまった。産業全体をD・Iで見ると、前期比横バイの資金繰りを除いて、売上、採算ともに悪化した。特に売上の悪化は著しく、不況が一層深刻化している状況がうかがえる。

景況は水面下で 更に後退傾向

中小企業景況調査(1~3月期)

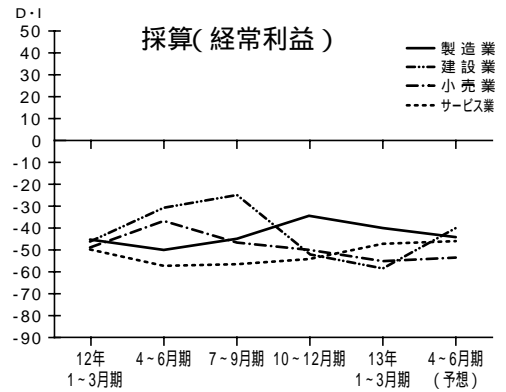
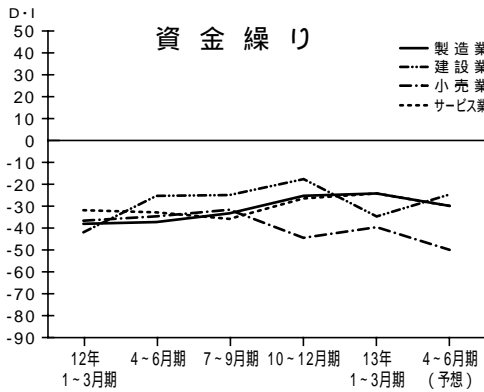
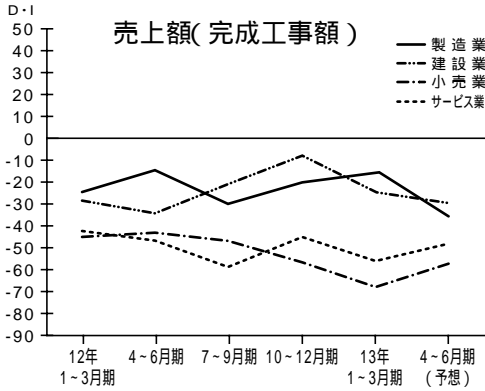
各項目を業種別に見ると、「売上」は製造業だけが、若干の改善を示しているものの他の三業種(建設業、小売業、サービス業)は全て悪化した。特に建設業の悪化が著しい。前期の改善効果が全て無に帰してしまつた。しかし前期を除けば今期を含めて長期的な傾向値の範囲内にはあり、業界内に不況への備えが出来ていることを期待したい。

「採算」は、サービス業だけが好転しているが、その水準は低く売上が好転した製造業でも悪化している。単価低

迷によるものだろうか。

「資金繰り」は、建設業では大幅に悪化した。他業種では若干の改善を示した。建設業を取り巻く環境が次第に厳しくなってきた。その影響が資金繰りにも及んできたのだろうか。経営改善に向けての必死の努力が必要である。

来期(四月、六月期)の「売上」は、小売業、サービス業で好転するが、製造業、建設業で悪化する。「採算」は、製造業だけ悪化し、「資金繰り」は、製造業、小売業、サービス業は悪化するが、建設業だけは改善すると予想している。



D・I「企業経営者の景況の見通しを表す指標として利用される。算出方法は、売上高(生産高・工事高)の増加企業割合から減少企業割合を差し引いたものであり、D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、プラス・マイナス同数の場合はD・Iは0となる。ここでの割合は回収企業に対する回収割合。

能登新空港の開港に向けて 地域活性化 新規事業の具体化へ

本会では、能登空港の開港を平成十五年に控え、同空港の開港による交流人口の増大や物流の活性化が期待されることから、能登地域の振興・活性化を推進するため、平成十年度から三カ年にわたる継続事業として、「新空港活用能登地域活性化推進事業」を実施してきた。

新規ビジネスの具体的な事業化の方向が確立でき新規産業の創出の効果があつたほか、受入体制の整備、全国に向けて能登地域の情報発信により産業や技能の集積、発展にも繋げることができた。

これまでの主な流れ

平成十年度は、対象地域の資源調査や人材ネットワーク調査を行い、基礎的な調査をもとに能登空港活用の方向性を検討し、具体的に「物語を伝える体験交流システム」として「能登・くらしの原風景」・「物語のある産品づくりと流通手法の開拓」として「能登・ものづくりの原風景」の方向性を打ち出した。

平成十一年度は、能登空港活用ビジネスプラン・アイデ

イアを公募し、それらのアイデアの具体的な事業化に必要なプログラムを整備し支援を行うとともに、さらに能登地域の情報を対外的に広報するために情報誌「NOTO」の発行を開始した。

十二年度事業の概要

十二年度に実施した事業の主な概要は次のとおり
体験モニターツアーの実施について
農山漁村の産業体験や工芸体験など、体験メニューに対して、モニターを募り、受入れ企画テストを通じて事業化を進めるために、体験モニターツアーを能登北部グリーンネットワーク協議会と共同で企画し、参加申し込みのあった次のコースで実施した。

- 「海を楽しむコース」(釣り体験とピン玉編み込み教室)
- 「食べ物を作るコース」(とろろづくりとそば打ち)
- 「能登の海・山で採るコース」(磯釣り、サザエ採りときのこ採り)

なお、参加者に対し、アンケートを行い、コースの組み

商工貯蓄共済 新規募集を再開

昨年十月に、商工貯蓄共済の生命保障引受協会社である協栄生命が更生特例法の適用を受けてから、一時的に新規募集を停止して

いましたが、このほど新規募集を再開いたしました。きたる六月から九月までは新規加入の強化月間といたしますので、ご加入についてご協力をお願いいたします。

生命保障引受会社はジブラルタ生命に社名変更

商工貯蓄共済の生命保障引受け会社は、四月から新しく「ジブラルタ生命」(旧協栄生

命)となりませんが保険料・保険金額は従来どおりで変更はありません。

また、ジブラルタ生命は、世界最大の総合金融会社「プルデンシャル社」のグループ保険会社であり、資本金は五百億円で、ソルベンシーマージンも五百%以上を見込み、生命保険会社としては優良企業となります。

中小企業の皆様へ あなたのIT投資を資金面からバックアップ

県では、中小企業者の皆様の情報技術を用いた設備導入を促進するため、本年4月から従来分に加え、さらに利用しやすい内容になりました。

こんなIT投資にご利用いただけます	制度名	限度額	期間 (据置期間)	実質年利率 (H13.4.現在)	問い合わせ先
投資金額が1千万円以上で中小企業経営革新支援法の計画承認(付加価値のアップが見込まれる)を受けたもの	情報技術活用支援融資(経営革新分)	3億円	整備資金 10年(3年) 運転資金 7年(1年)	1.7%	経営支援課 TEL 076-223-9194
投資金額が5百万円以上	情報技術活用支援融資(一般分)	2億円	整備資金 10年(2年) 運転資金 7年(1年)	1.9%	経営支援課 TEL 076-223-9194
設備貸与制度を活用(原則として従業員20人以下の企業)	設備貸与制度(I T分)	6千万円	整備資金 7年(1年)	2.0%	石川県中小企業振興協会 TEL 076-267-1140
延払設備貸与制度を活用	延払設備貸与制度(I T分)	6千万円	整備資金 7年(1年)	2.0%	石川県鉄工機電協会 TEL 076-268-0121

(注)「IT投資」とは
企業内外ネットワークの整備等により、業務の効率化を図るための設備や
生産工程の自動化等により、生産の効率化を図るための設備の投資(導入時に単体整備のみは除く。)とする。

新たな設備投資や設備更新をご検討の中小企業のみなさまへ

制度名	設備資金貸付制度	設備貸与制度
内容	創業及び経営基盤強化に必要な設備資金の50%を長期・無利子で貸付	創業及び経営基盤強化に必要な設備を県中小企業振興協会が購入し、長期・低利により貸与(割賦、またはリース)
対象業種・設備	原則として指定なし	
対象従業員数	小規模企業者及び創業者 製造業・建設業・運送業等 原則20人以下 小売・サービス業 原則5人以下(特認50人以下)	
限度額	50~4,000万円(特例6,000万円)	100~6,000万円
金利	無利子	2.75% 利子補給一般分 0.5% I T分 0.75% 実質 2.25% リース 1.40%(7年)~3.006%(3年)
期間	7年以内(据置期間1年以内)	割賦 7年以内(据置期間1年以内) リース 3~7年
保証人・担保等	原則として貸付金額1,000万円超の場合、物的担保必要	原則として保証人のみ

お問い合わせ先: 財団法人石川県中小企業振興協会設備貸与課
TEL(076)267-1140 FAX(076)237-3622



(ビジネスプラン・イメージ図より)

方、体験の内容、宿泊、接客面などについてニーズ調査を行った。

能登体験交流研修事業(広域プロデュース)について
宿泊産業や観光施設のスタッフ等を対象に、能登の体験交流施設を見学し、語り部に話を聞きながら、お客様に提案できる企画力と情報力を養成するため、(株)能登百正に委託して実施し、近隣であつても知られていなかった地域の良さの再発見、情報交換を行う上でのネットワークづくり、語り部候補の発掘などの効果があつた。

物語のある産品づくり事業について
商工会等の特産品等ものづくりで商品価値を高め、売れる産品にするためには地域の知恵、価値が伝わる物語が必

「日本の原風景・能登」を具現化するために、これまでの成果をふまえながら、今後の事業の課題として、「能登人と都市民との心の交流事業」を通じて固定的なファン層を都市住民の中に広げていく対都市民交流事業や能登らしい手づくりブランドの育成支援を行う事業などがあり、他の関係機関との連携を図りながら進めていかなければなら

本事業をさらに推進し、実践グループ等の育成・指導について
昨年度能登空港活用ビジネスプラン・アイデアに応募のあつた実践グループに対し、支援、指導を行った。



要となるため、昨年度能登空港活用ビジネスプラン・アイデアに応募のあつた「能登草木染研究室」の新谷幸子さんの事業を対象として実施した。

情報誌の発行について
都会等へ能登地域情報の発信のため、情報誌「NOTO」第二号、三号を発行した。

最優秀賞にお酒俱樂部くぼで(山中町)

平成十二年度いしかわ商工会ベスト店賞・十五店舗を表彰

県連合会では、三月二十八日、県連合会会議室で「平成十二年度いしかわ商工会ベスト店賞」の表彰式を開催した。この賞は、石川県内の商工会地区にある小売業、飲食業並びにサービス業を営む中小店の中から、地域の人たちの要望に応えて、魅力ある店づくりやサービスの提供に努力しているお店を顕彰する制度で、学識経験者で構成する審査委員会による審査を経て、最優秀賞一店、優秀賞三店、特別賞六店、奨励賞五店を表彰した。各受賞店は、今月号及び来月号で順次紹介する。

最優秀賞

お酒俱樂部くぼで

山中町

素晴らしい街並みが続く山中温泉ゆげ街道の一角にあって、周囲と調和しながらも、一際人目を引くのが「お酒俱



楽部くぼで」の瀟洒な店舗である。優れた店は、優れた街並みに位置しなければならぬが、この点ではまず申し分がない。

落ち着いた色調の店内には、地元産の銘酒が世界各地のワインとともに、ゆつたりとしたスペースをとって陳列され、お酒を一層美味しくする漆器、陶磁器、ガラス器など美術酒器の展示も、所々に活けられた四季の花々とあいまって、一幅の名画の境地へと導く。

コーヒESHOPPから漂う快い香りに包まれて、店内を回遊するのも良く、商品管理と展示を兼ねた地下セラーでの買い物も楽しい。「入りや

すい店」の域を超えて、「入りたくてたまらなくなる店」の活きた実例となっている。最優秀賞の名に恥じない。

優秀賞

メルベージュ森

根上町

専門性を強調しながらも、車社会に対応した新しいタイプの商業集積を作り上げ、その中に、「日本でも一流の店舗を開きたい」との夢を見事に実現させたのが代表者森信一氏である。



豪華な店内には、高級時計、高級眼鏡、宝飾品が、ゆつたりと陳列され、優雅な照明とあいまって圧倒的な高級感を演出する。

一方では、コンピュータを利用した宝石のリフォームや時計の電池・バンド交換にも

力を入れ、顧客層の拡大を狙う。「お客様の目線を自店の目線とする方針」は、本物志向である。

優秀賞

菓子工房日本堂五彩庵

寺井町

全国各地から選りすぐった材料を仕入れ、熟達の技で練り上げた和洋の菓子は、三年連続してJALスーパーシート全路線の機内茶菓に採用され、また皇太子御夫妻御来県の際には、お茶請けの栄を賜るなど、その名声は九谷五彩に劣らず全国に轟く。

寺井町中心部に位置する店内には、花の如き菓子が並び、来店客にふるまうお茶の香りともいまって、さながら桃源郷の如くである。



優秀賞

おかの加賀藩たから

津幡町

工場の天井や床には、水や空気を活性化する装置を張り巡らし、吟味された国産の材料だけを使って作られる和洋菓子の美味しさは、筆舌に尽くしがたい。

過去には皇太子御夫妻の育樹祭来町の折りに美味され、又、森繁久弥氏への進呈、当町内では入学式等の贈答期には、店頭で行列ができ、ガードマンを雇う程の活況を呈する。明るく清潔な店内で実演販売するシュークリームの評判も良く、朗らかな店員さん達の接客サービスとあいまって、客足が絶えない。





「フレッシュフードはまだ」は、山中温泉の中心部に気楽に立ち寄れる親しみのこもった店を構えるが、店だけには頼らず、御用聞きや配達も行って、地域に溶け込み、地域に愛される元気型の営業を行っている。

取り扱う商品の新鮮さ豊かさにかけては、他に及ぶものが無く、お客様の必要に合わせて、ねぎ一本、りんご一個からの販売も行う。地域の人たちを助けて、その人たちによって助けられる地域密着型商店の代表例である。

特別賞
フレッシュフードはまだ
山中町

「時代が変わっても本物は変わらない」という信念を貫き、アットホームだが一流の品格を持つBAR作りに励む。直線を組み合わせた幻想的な空間で、美味しいパスタを肴に好みのカクテルを味わう気分は、「王侯の楽しみ」に等しく、固定客も多い。

二階には、豪華な会議室も準備され、町の社交場として賑わいが絶えない。

特別賞
シャンブルドゥココ
(Chambre de Coco)
寺井町



特別賞
料亭喜水苑
川北町



「料亭喜水苑」は、のどかな田園地帯に、豪華な建屋と庭園をこしらえ、四季おりおりの風味を心のこもったもてなしを添えて提供する川北町の新名所である。飲食を楽しむ団体客、個人客だけでなく、近年は婚姻、法事等冠婚葬祭の需要も増えてきた。

この地より「グレードの高い飲食を、総合文化として、発信したい」という代表小竹隆氏の心意気が見事である。

● ● ● 経営支援特別相談会 開催のご案内 ● ● ●

商工会並びに県連合会では、県内中小企業者の経営上の困りごとの相談に応ずる「経営支援特別相談会」を次のとおり開催いたします。

どうぞ、お気軽に最寄りの会場でご相談ください。

相談日及び会場

6月5日(火)	七塚町商工会館
6月7日(木)	山中漆器伝統産業会館
6月14日(木)	羽咋市商工会館
6月15日(金)	能都町商工会館
6月20日(水)	野々市町商工会館
6月22日(金)	鹿島町商工会館

相談受付時間

午前10時から午後4時まで

相談内容

法律
経営
金融・保証
労務
情報
下請
新規事業展開

探訪 チャレンジ企業 22

新しい介護ビジネスにチャレンジ 有限会社 こすもす：内灘町

介護保険制度がスタートして、はや、一年が経った。当初は、いろいろな問題が噴出し、先行きが懸念されたが、ともかくも、一年が経過し、もともとニーズがあったのかしっかりと社会に定着した。今ではなくてはならない制度として、高齢者やその家族から高い評価を受けるに至っている。

代表者の信念

この制度を利用して新事業を立ち上げたのが、自身も看護婦の資格を持つ、代表者木谷幸子さんである。木谷さん



(有)こすもすの事務風景

は、かつては大病院に勤務し、自己の職務に生きがいと誇りを持ってその職責を立派に果たしてこられた。しかし、その仕事はあまりに厳しく、夜勤も頻繁に回ってくる。家事・育児に責任を持つ家庭婦人としての立場とその重責とがどうしても両立せず、遂には退職のやむなきに至った。天職と心得た仕事から、中途でリタイアすることは、まさに残念であり、何らかの形で復職できないかと日々思い悩んでいた。

面倒見のよさも手伝ってか周辺には同じ悩みを持つ多数の元ナース達が集っていたが、木谷さんはこれらの人達の願いもかなえることが「自分の使命だ」との信念を持つに至っていた。このとき、折よく、介護保険制度の発足が決まったのである。

訪問看護事業への挑戦

介護保険の在宅サービスの一つに、訪問看護サービスがある。これは医師の指示を受けた看護婦が、それぞれの家

庭を訪問し、医学的な立場から、必要な処置とアドバイスを行う高度のサービスである。そのための必要な時間を獲得できればよく、看護婦としての職務と家庭婦人としての立場との両立が可能である。

更に、入院等による老人医療費の増大によって危機にひんしていた健康保険財政の健全化にも寄与する。二重の意味での社会貢献が可能であり、木谷さんは、この事業化に挑戦した。

幸いに、周辺には、「博愛と奉仕に基づくナイチンゲール精神」に富んだ、工文字さん、雁谷智子さん、佐々木良子さんという有能な人材がいて、スタッフとしての協力を得られた。また、現場を担当する登録看護婦として、十人の仲間も応募してくれた。

そこで、平成十一年八月に「(有)こすもす」を設立し、平成十二年四月の介護制度発足と同時に「在宅介護支援事業」(ケアプランを作成する)と「訪問看護事業」とを開始したのである。



訪問看護事業に取り組む
(有)こすもすの皆さん

事業の特徴

介護保険サービスを受けるには、いろいろと面倒な手続きが必要である。しかし、同社に「頼む」と一声かければ、介護認定開始から介護計画の立案、訪問看護の実施、そしてヘルパーの手配に至るまでの一連の手続きを全て実施してくれる。そのため、介護される人、介護する家族にとって、心強い味方であり、その訪問は非常に喜びを持って迎えらる。社会的に極めて大きな意義のある事業と言えよう。

まとめ

この事業は代表者の強い創業意欲と博愛精神に基づき「在宅サービスの質」を「施設サービスの域」にまで高める社会的ニーズの強い事業として始められた。いわば社会福祉型のチャレンジ企業であり、今後の一層の発展を期待したい。

(お問い合わせ)

(有)こすもす

〒九二一〇 〇二六五

河北郡内灘町大学二丁目三〇

セントラルハイム一階

TEL 〇七六 二八六 九〇〇三

FAX 〇七六 二八六 九〇三三

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。

代理店研修生募集

研修嘱託社員となっただき、将来専業代理店となっただきです。

損害保険代理店は時代の先端をゆくビジネスです。

- 資格 22歳～45歳
- 給与 210,000円～280,000円(固定給)
- 研修期間 標準36ヶ月

まごころでサービス

安田火災

くわしくは、お気軽に
右記へご相談下さい。

安田火災海上保険(株)

金沢支店

金沢市香林坊1-2-21

第一支社

電話 (076) 262-1671